

区市町村公共施設等への再生可能エネルギー導入促進事業概要書

1. 事業内容

事業名称	鶴牧中学校太陽光発電設備等設置工事		
施設名	鶴牧中学校	所在地	東京都多摩市鶴牧6-5-1
導入設備	太陽光発電設備(モジュール:5.74kW、パワーコンディショナ:6.0kW、蓄電池:6.3kWh)		
事業内容	・ 非常時に避難所となる施設に太陽光発電設備と蓄電池を設置する。 ・ 太陽光発電設備で発電した電力を当該施設で自家消費する。 ・ 太陽光発電設備で発電した電力に余剰があった場合、蓄電池に充電し、災害時に必要な電力量を確保しつつ、ピークカット電力として活用する。 ・ 災害時に太陽光発電設備からの電力が不足した場合、蓄電池からの電力供給により、避難所としての機能を強化する。 ・ 本事業で導入する太陽光発電設備と蓄電池の状態の可視化・制御装置により、太陽光発電量を可視化するとともに、蓄電池の適切な充放電を行う。		



2. 期待される効果

普及効果・平時における役割	平常時には、太陽光発電による電力を既存の負荷で消費することで、温室効果ガスの排出を抑制する。また、朝夕の時間帯に発電した電力を蓄電池に充電し、発電の少ない時間帯に放電することで、再生可能エネルギーの利用拡大を図る。
防災減災面における役割	停電時には蓄電池から特定負荷へ電力を供給し、さらに太陽光発電設備により発電した電力で蓄電池を充電することで、電力供給の継続を図る。これにより、災害時における避難施設や防災拠点としての機能を強化する。